

委員会 レポート

委員会活動として、
閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、
各委員会は第7回定例会において、
次のとおり報告しました。
なお、内容は要約してあります。

総務文教常任委員会 調査報告

給食センターの 運営状況について

学校給食での異物混入の事案を受けて、「学校給食における危機管理マニュアル」を作成し、安全管理の徹底に取り組んでいる給食センターの視察を行うとともに、担当職員から説明を受けた。

食材は、安全を第一に十勝産、北海道産、

国内産等を基準に指定購入しており、地産地消の取組みとして、安全で安心できる地元食材の活用を図っている。

食物アレルギーへの対応は、アレルギーの起因となる食材料を除去することを基本とし、献立内容によっては、代替食の提供を行っている。

いる。

異物混入の防止に向けては、①食材料の検収の実施、②点検・確認等の実施、③納入業者への指導による管理の徹底、④配送過程における安全・衛生管理の指導、⑤教室での異物混入の防止と指導の実施、⑥異物混入事例のデータベース化による原因分析を行い、再発防止を図る対策が取られている。

各委員からは、異物



清水町学校給食センターを視察

混入は数年前から複数回発生していることから、食品を提供するところは100%安全なものを提供する意識が必要で職員の意識が足りな

産業厚生常任委員会 調査報告

①農業関連組織の展望について ②子ども・子育て支援の取組みについて

①農業関連組織の展望について
国の「規制改革会議第2次答申」を受け、JAグループ北海道で取りまとめが進められている改革プランについて、北海道農業協同組合連合会中央会を訪問し、説明を受けた。

農家の所得向上に対し

②子ども・子育て支援の取組みについて
しては、農協へのサポートをより強くすることが必要とし、将来を見据えた産地形成と有利販売を実現することが今後必要になるとしている。また、地域に貢献できる活動を展開するとしている。

改革プランにのっとり、農業・農協改革を

進めていただくことが地域の維持と発展につながるもので、議会としても注視しなければならぬと思われる。

②子ども・子育て支援の取組みについて

〔新冠町認定こども園「ド・レ・ミ」〕
幼保一体型であり、園には看護師が常勤している。現在のところ幼稚園機能よりも、保育所機能を重視しており、今後研究を重ね、利用者のニーズにあっ



新冠町認定こども園「ド・レ・ミ」を訪問

た園づくりを行っている」としている。

新制度での保育と学びに関しては、今後の幼保連携型の課題になると考えられる。

【アイエムアイ】

札幌市の一般社団法人で、保育園、託児所、ベビーシッターなどの事業を運営している。

子育てには母性と父性の調和や、子どもを持った親だけではなく、社会全体で子どもを育てる環境が重要であり、次代を担う子どもたちの健全な育成のために、今の大人たちが果たしていく責任は重大であるとの認識を更に深めることができました。